山陰教区
門徒総代会だより

編集・発行：浄土真宗本願寺派山陰教区門徒総代会　　会長　神田　進
〒690-0002　松江市大正町443の1本願寺山陰教堂　TEL 0852-21-4747　FAX 0852-27-8351

2024（令和6）年度 門徒総代会研修会
10月31日（木）、ビッグハート出雲（出雲市）で開催。講師は瑞光倫浩 師。（２ページに記事）

山陰教区総代会会長に就任して

山陰教区門徒総代会　会長　神田　進

このたび、私こと、前総代会会長、橋本正嗣様をはじめとする役員方々のご進挙により、山陰教区門徒総代会会長の大役を仰せつかりました。

もとより浅学非才の身の上、至らぬ者ではございますが、皆様方のお力添えをいただき、重責を務めさせていただく所存であります。何卒よろしくお願い申しあげます。

さて、我々を取り巻く世の中は少子高齢化という大波の中にあり、あらゆる組織活動、私たち門徒総代としての任務のみならず、地域におけるさまざまな活動など、多岐に渡り非常に厳しい状況となっています。さらには新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかけ、葬儀や法事などの仏事の変容、また寺院での法座の参拝者の減少など、先の見えない状況が続いております。

そのような厳しい状況の下、我々門徒総代はどのように考え、どのように行動したら良いのでしょうか。

それには、まず自身が積極的に聞法し仏法を広める努力をすることによって、門徒としての姿勢を確立しなければなりません。

同時に、多くの人々が聞法・伝道に参加できるよう配慮することも、門徒総代の重要な務めでありましょう。

宗門法規の上では、門徒総代は、「住職及び代表役員を補佐して、その諮問に応じ意見を具申するもの」とされており、寺院の定めるところに従って職務を行い、「住職を補佐して、寺門の護持発展に努めること」と定められています。

一人一人の力は微力でありますが、複数の門徒総代が結集して聞法・伝道・寺院護持に関わっていけば自ずと道は拓けていくものです。今一度原点に立ち返って我々がなすべきことを真摯に考え、寺門興隆に汗を流そうではありませんか。

皆様方には一層のご指導ご鞭撻をお願いし、会長就任の挨拶といたします。　合掌

二〇二四（令和六）年度 門徒総代会研修会

二〇二四（令和六）年十月三十一日（木）ビッグハート出雲・白のホールを会場に、今年度の門徒総代会研修会を開催しました。

近年はコロナ禍で、人数制限をして山陰教堂で開催していました。「もっと広い会場で多くの人と一緒に参加したい」とのご意見も多く、今年度は五年ぶりにビッグハート出雲で開催することになりました。

ご講師は、瑞光倫浩師（邑智東組 眞清寺 住職、山陰教区布教団副団長）。「終活を考える」をテーマに、ご法話をいただきました。

最近、「終活」という言葉をよく耳にします。「終活」という言葉が言われ始めたのは十五年前ごろから。自分の人生の終わりを見つめ、

講師（瑞光師）

2024（令和６）年度　門徒総代会研修会アンケート集計（抜粋）

１．この度の研修会について、日程・会場・開催方法はいかがでしたか？

- 出雲で午後からの開催で、良かったです。（２件）
- 寒くもなく暑くもない時期なので、良いのでは。（２件）
- 11月初旬が良い。
- 選挙がありバタバタした時期になった。
- 交通も良くわかりやすい場所だったので、とても良かった。
- 音響が良かった。
- 会場は駅に近く、駐車場もあり良かった。

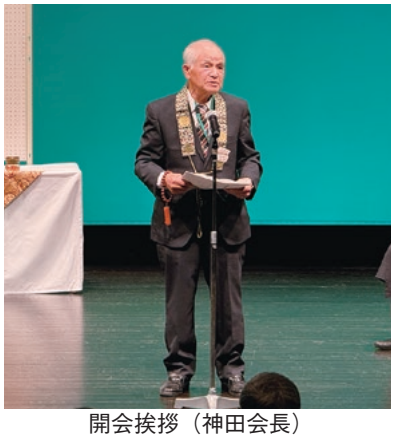
２．この度のご講師のお話はいかがでしたか？

- 良かった。（9件）
- わかりやすかった。（12件）
- 生死について考えさせられた、とても良い法座であった。
- 大変勉強になった。
- 残り少なくなった時間をどう過ごしていくか、大変ありがたく思いました。
- 教えについて改めて認識した。終活についても考えさせられた。
- まだ年金をもらっていないため、終活はピンとこなかったが、田んぼを自分の代で終わらせると決めているので、これも終活のひとつなのだろうと思った。
- 終活についてより深く考えることができた。同時に生きることの意味を考えさせられた。
- 自分が終活を考える年齢となり、関心があったので良かった。
- 終活とはいかに生きるべきかと理解した。自分なりにしっかりと考えていのちを全うしなければと思う。
- 亡くなるのではなく、往生していく身の幸せ。今を大切に。
- これから残りの人生の中で、終活の準備をしておくと、日々の過ごし方が変わると思った。とても興味のあるお話だった。
- 今日的なテーマだった。話の終盤の阿弥陀如来像や仏具の話が興味深かった。
- 時代に合った話だと思う。
- 日常の身近なことに触れ、大変わかりやすく良かった。浄土真宗の基本的なことがよくわかり、大変勉強になった。

３．次回の研修会ではどのようなお話を聞いてみたいと思われますか？

- 今日の講師のお話の続きをお聴聞したい。（２件）
- 何事も何度でも聞いてみようと思う。
- 親鸞聖人のご生涯
- 今後、門信徒が減少する中で、門徒としてどのようにお寺を支えていくか。
- 浄土真宗のみ教えなら何でも
- 迷いと教えについて（たとえ話）
- 浄土真宗と世の中
- 広く信心・信仰について（現代において）
- 人生について
- いのちの大切さと、み教え
- コロナ禍により、葬儀のあり方が変わってきた。葬儀前焼香のあり方はいかがかと思う。このことについて話を聞きたい。
- 普段唱えているお経の意味について解説してほしい。勉強不足と言われればそれまでだが、なかなか学ぶ機会もないので。
- 総代のあり方・役割
- 門徒会の役割・お寺との関係
- 組内寺院のおかれている立場・現状について、教団のあり方について、今後の寺の減少について
- 浄土真宗に関係することなら、どんなテーマでも良い。
- 今、生きていく、生き方について

閉会挨拶（三井副会長）


開会挨拶（神田会長）

開会挨拶（晨教務所長）

準備をすることですが、これは単なる「身の回りの整理」ではありません。むしろ、「私のいのちの問題」として受け止め、自分の生き方を見つめ直す機会です。

私たちは限られたいのちを生きています。その時間を、どのように大切にし、心豊かに過ごすのかが問われています。

「心豊かに生きる」とは、何か特別なことをすることではありません。日々の暮らしの中で、家族との時間を大切にすること、自分の時間を大切にすること。その積み重ねが、いのちを大切にすることにつながります。仏さまの教えに耳を傾け、念仏とともに生きることで、心の豊かさを感じることができるのです。

ご講師は最後に、「終活が必要か不必要かは、人それぞれです。しかし、仏教の視点から考えると、『終活』とは単に死の準備をすることではなく、今をどう生きるかを問い直すことでもあります。これからも念仏の教えをご相続いただくことを切に願います。」と述べられました。

講師のご経験をもとにお話いただき、浄土真宗のみ教えを聞かせていただくことの大切さを学びました。参加された方々にとっても、関心の高いテーマで、熱心にお聴聞されていました。

教区内遠近各地から、八十七名のご参加（スタッフ含む）をいただきました。ありがとうございました。

山陰教区門徒総代会　各組代表理事名簿

任期：2024（令和６）年４月１日～2026（令和８）年３月31日

（敬称略）

各組代表理事

組　名	所属寺	名　前		ブロック
鳥取因幡	養源寺	福田　健治	新任	鳥取ブロック
鳥取伯耆	善證寺	加治佐　正信	新任	
松　江	光徳寺	山本　公司	新任	出雲ブロック
出　雲	専立寺	岡田　好史	新任	
神　門	光林寺	神田　進	再任	
出雲南	常信寺	田部　敏雄	新任	
飯　南	一念寺	大森　民雄	再任	
大田東	善性寺	小倉　一義	新任	石東ブロック
大田中	玉泉寺	三井　隆治	再任	
大田西	明円寺	小川　和邦	再任	
佐　波	西光寺	波多野　康博	新任	邑智ブロック
川　本	光楽寺	坂根　剛	新任	
千須賀	照立寺	中原　康隆	新任	
邑智東	眞清寺	河野　義則	新任	
邑智西	長円寺	香川　良三	新任	
江　津	浄光寺	佐々木　卓	再任	石西ブロック
浜　田	光西寺	廣﨑　勝美	新任	
三　隅	安養寺	泉川　晋作	新任	
益　田	安養寺	齋藤　正明	新任	
鹿　足	圓教寺	橋本　正嗣	再任	

役　員

役　職	名　前	備　考
会　長	神田　進	
副会長	大森　民雄	
副会長	三井　隆治	
常任理事	加治佐　正信	鳥取ブロック
常任理事	山本　公司	出雲ブロック
常任理事	小倉　一義	石東ブロック
常任理事	波多野　康博	邑智ブロック
常任理事	齋藤　正明	石西ブロック
監　事	岡田　好史	
監　事	田部　敏雄	

2023（令和5）年度 山陰教区門徒総代会　一般会計決算

自 2023（令和5）年4月1日　至 2024（令和6）年3月31日

【歳入の部】

款	項	費　目	決算額	予算額	対比△減	説明
1		繰越金	1,455,424	1,455,424	0	
	1	前年度繰越金	1,455,424	1,455,424	0	令和４年度繰越金
2		会費	764,000	772,000	△ 8,000	
	1	当年度会費	764,000	772,000	△ 8,000	令和５年度会費
	2	前年度未収金	0	0	0	
3		研修会参加費	63,500	330,000	△ 266,500	
	1	研修会参加費	63,500	330,000	△ 266,500	教区研修会参加費
4		助成金	160,000	160,000	0	
	1	助成金	160,000	160,000	0	全国門徒総代会助成金（教区研修会）　30,000円 全国門徒総代会助成金（組活動推進事業）　30,000円 山陰教区助成金　100,000円
5		回金	0	0	0	
	1	回金	0	0	0	特別会計からの回金
6		雑収入	10	2,576	△ 2,566	
	1	雑収入	10	2,576	△ 2,566	預金利息
		歳入合計	2,442,934	2,720,000	△ 277,066	

【歳出の部】

款	項	費　目	決算額	予算額	対比※超過	説明
1		事業費	226,496	690,000	463,504	
	1	研修費	145,646	600,000	454,354	教区研修会開催経費
	2	会報印刷費	80,850	90,000	9,150	「門徒総代会だより」発行
2		会議費	153,259	250,000	96,741	
	1	理事会費	90,984	150,000	59,016	理事会（各組代表者会）、監査
	2	常任理事会費	62,275	100,000	37,725	常任理事会
3		教化助成費	340,000	400,000	60,000	
	1	教化助成費	340,000	400,000	60,000	各組助成金 20,000円×17組
4		組織強化費	30,000	30,000	0	
	1	組織強化費	30,000	30,000	0	全国門徒総代会教区負担金
5		事務費	30,236	90,000	59,764	
	1	通信印刷費	19,729	80,000	60,271	発信費
	2	事務諸費	10,507	10,000	※ 507	振込手数料等
6		雑費	0	10,000	10,000	
	1	雑費	0	10,000	10,000	
7		出向費	0	30,000	30,000	
	1	全国門徒総代会費	0	10,000	10,000	
	2	連絡協議会費	0	20,000	20,000	
8		回金	1,000,000	1,000,000	0	
	1	回金	1,000,000	1,000,000	0	特別会計への回金（本年度より費目新設）
9		予備費	50,000	220,000	170,000	
	1	予備費	50,000	220,000	170,000	「令和６年能登半島地震」災害義援金
		歳出合計	1,829,991	2,720,000	890,009	

歳入合計	2,442,934	歳出合計	1,829,991	差引金額	612,943

※2024（令和６）年度に繰越

編集後記

今年度の山陰教区門徒総代会研修会は、ビッグハート出雲で開催し、八十七名のご参加をいただきました。

コロナ禍で中止とした年や人数を制限して開催した年もあり、大きな会場での開催は実に五年ぶり。

ビッグハート出雲は、アクセスの便が良い会場です。白のホールはゆったり座れる座席があるうえ、音響も良く、参加された皆さまからご好評をいただきました。

ご講師のお話の中で、「仏教の教えは時代を超えても変わらない」ということばが心に残りました。

私たちは日々変化する社会の中で生きています。しかしながら、阿弥陀さまの救いは変わることなく、常に私たちを包み込んでくださっています。

（事務局）